

JCI (公社)太田青年会議所

(題字 田村 圭裕 理事長)

上州太田

【公益社団法人太田青年会議所 2025年度スローガン】

大いに夢を語り合おう！誰もが輝ける組織と地域の未来のために！



年頭のご挨拶

公益社団法人太田青年会議所 2025年度

第61代理事長 田村 圭裕

新年あけましておめでとうございます。本年度、公益社団法人太田青年会議所、第61代理事長を務めさせていただきます、田村圭裕と申します。どうぞよろしく願いいたします。2024年度では大塚理事長の掲げる「60年の想いを紡ぐ、魅力ある組織と新たな挑戦！」のスローガンのもと、太田青年会議所創立60周年の節目の年を歴史に感謝し、想いを紡ぎ新たな挑戦を次の節目に向けてビジョンを示すことで、メンバー全員の想いをつなぎ太田青年会議所、さらには太田を次のステージへと引き上げるため、活動して参りました。また「OTA Junior Challenge CUP」「創立60周年記念式典」「おしごとチャレンジ」を始め、様々な事業へ多くの皆様にご参加いただくことが出来ました。昨年の活動が滞りなく終了することが出来ましたのも、各事業にご支援をいただきました地域の皆様、各企業の皆様、地域団体の皆様、そして、多くのご指導とお力添えをいただきました太田青年会議所シニアクラブの皆様方のご協力

の賜物でございます。改めまして心より感謝申し上げます。

2025年度では「大いに夢を語り合おう！誰もが輝ける組織と地域の未来のために！」をスローガンに掲げ、運動を展開して参ります。60年からの新たな一歩目を踏み出し、地域のため、メンバーの成長のために日々邁進していく所存です。だからこそ大切なのは自分たち自身の視点や思考を変化させていき、人との交流から学ぶことの大切さを大事にしていき、しっかりとしたJAYCEEとして成長し、メンバー同士の絆を深める環境をつくり、互いに成長して参ります。そして我々自身が小さな輪から大いに夢を語り合い、この地域に対して夢の輪を拡げていくことで、太田青年会議所と地域が活性化していくと確信しております。本年度も皆様の変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。一年間何卒よろしく願いいたします。



阿久澤毅氏 × 田村圭裕

株式会社群馬フロンティアバスケットボール
コミュニケーション代表取締役

公益社団法人太田青年会議所
第61代理事長



田村：本日はお忙しいところ、貴重なお時間をいただき誠にありがとうございます。よろしくお願ひします。

私たち太田青年会議所は、20歳から40歳までの青年経済人を対象とした組織です。地域で事業を立ち上げたり、青少年や子どもたちに向けたさまざまな活動を行っています。また、私たち自身の成長のために何ができるかを常に模索しながら活動を展開しています。

クレインサンダーズの活躍は本当に素晴らしいですね。どこに行ってもその名前が話題に上がり、我が家の子どもたちもすっかり夢中になり、毎週欠かさず応援をしています。家族全員がコウ選手のファンで、選手の靴も大切に家に飾っています。妻もクレインサンダーズの熱心なファンで、この前、家に帰ると、まるでジャニーズのライブに行く準備をしているかのように、家族全員で応援用のうちわを作り始めました。家族みんなでそのような形で応援しており、楽しんでいます。

そういった背景を踏まえながら、少しお話させていただければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

太田青年会議所は、一般の方々へのPRやアプローチが難しい部分があります。特に、事業を行う際にお客様が来づらい状況があり、太田青年会議所やJCという団体の知名度が低いと、商工会議所の事業と混同されがちです。その結果、JCが行っている事業が十分に認識されず、商工会議所の事業だと思われることが多いです。

結構、発信能力っていうのが薄いのが我々の団体であるんですけども、クレインサンダーズのバスケットもそうなんですけども、一応、前橋の方から、こちらに来られたわけじゃないですか。やっぱり最初、我々も、この地域の子供たちは、自分たちの子供たちもそうなんですけど、基本的に、バスケットというよりも、一昔前は、サッカーや野球の人气が多かったが、ここ最近はバスケットの人气が高まってきていると思います。それは太田市でクレインサンダーズが活動されて知

名度が上がり子ども達の中でもバスケットに関わることが多く、子ども達の口からクレインサンダーズの名前が出るが増えてきたと感じます。知名度アップの方法はどのようなものをしてきましたか。

阿久澤氏：認知度を上げるためにして来たことは、まず前橋から太田に来るっていう、そもそもその時点で認知度が上がっているんですよ。その移転する認知と噂話から、これも認知度向上だと思います。我々は具体的にやった事は「給食」です。牛乳パックにサンダくんっていうのは1番最初にやりました。これは東毛酪農さんの給食の牛乳パックにサンタクんの絵を入れるっていうのを大久保組合長に相談に行ったら、「じゃあ、うちはスポンサーなんて大それたものできないけど、絵だったら入れられる」と牛乳パックに入れようっていうので、快く引き受けてくれました。それが太田に来た第1歩です。効果があったのか分かりませんが、それに加えて、大久保組合長の発想として、サンタクんの絵柄の入った牛乳パックが皆んなにいくのはダメだよ。俺の絵あるけど俺の絵が無いという現象が起こった方が子供は話題にするし、それで喧嘩まではしないだろう。いいなってなるわけだ。間引いたやつの方が注目浴びるよみたい話なんです。教育委員会は全部同じの方が子ども達が寂しい思いしたりすると可哀想だからって、それは学校の発想なんだよな。民間の発想だと、絵がある絵が無いがあった方がコミュニケーション取れて、子どもはいいとか俺の合ってよかったとか、じゃあ明日はあるかなっていう話になった方が、面白いんじゃないの?という提案だった。それで、その話が学校現場でどのくらい生きてるかどうか、わかんないです。検証はしてないし。ただ、子供たちがもう慣れたから、最近思わないのかもしれないけども、俺の中ではとにかく子供に認知してもらうのが1番だし、選手の入替わりがあるけれども、サンダくんは入れ替わりないだろうということ、安定したキャラクターとしてサンダくんがもずっと存在するならば、これを1番使った方がいいじゃないかっていう風に思いましたね。偶然ですが、今日泉泉小でバスケットボールをしげる工業さんと一緒に子供たちへプレゼントする企画があり、贈呈した後サンダくんが体育館で挨拶する流れで、子どもたちが待機していて偉い騒ぎでスターが来るみたいなの。でもこれはね、サンタクんの認知度上がっている証だと思うんですよね。サンダーズそのものを見に来たことがある子どもたちがたくさんいるのかもしれないし、それは牛乳パックでサンダ君を知ったっていうことになったのかも

れないんだけど。とにかく、我々のキャラクターであるサンダくんが、子供たちにもうすでに相当認知されていますよっていうのが今日改めてわかったから、それはよかったな。もちろん、サンダくんそのものの発信は SNS でやっているんですよ。そういう意味では、地道なこう SNS の発信を繰り返しながら、もちろんキャラクター選手権で 13 位でした。だから 1 番にはまだなれてないんだけど、こういうことを繰り返しながら、チームが同時にこう成績が上がると、多分一気にサンダっていうのは認知されて、もっとサンダくんの人気もさらに上がるんじゃないかと思うわけですよ。そういう風にちょっと考えてはいます。

田村: 確かにそうですね。牛乳パックの話もそうですけども、やっぱり学校の考え方になると、皆平等に入れるのではなく、疎に入れることによって今日はダメだった、明日はもしかしたら来るかもしれないっていうのは、やっぱりありますよね。



阿久澤氏: そっちの方が面白い。やっぱり学校って、なんかそういう平等感っていうのを大事にしちゃうんだけど。そうじゃない部分もあるだろうなと思う。

田村: 保育園とか幼稚園とかもそうですけど、今は演劇で主役が 3 人とかってありますからね。

阿久澤氏: とにかく、サンダくんを売るのを、最初に考えたね。

田村: その視点っていうのはどういうところから生まれるのですかね。基本的には、やっぱり選手を押すことによって、選手にファン化させる方を最初にしませんか？

阿久澤氏: 違うのだよ。サンダくんはね、最初キモかった。凄く気持ち悪かった。可愛くなかった。で、ちょっとサンダくん整形して綺麗にして。すごい可愛くなった、これはいけるぞと思って、いや、本当に新旧サンダくん比べると、その違いが本当によくわかって、こうやって可愛くすると、結構いけると感じた。デザイナーさんがちゃんといつてはサンダ

くんを可愛くしてくれたんですよ。これは大きかったなと思います。皆さん、この最初のしか知らないと思うのですよ。古いサンダくんを。

田村: 我々も 2 年前に事業で 500 人鬼ごっこをやって、そこでサンダくんがハンターに捕まったシナリオでしたが、やっぱり子ども達はキャーキャー言って盛り上がっていたので、子供たちにとって 1 つのシンボルだと思いますね。人の考えない違う視点を持つと、認知度が上がるのかなと感じました。

阿久澤氏: でもベースとしてはね。サンダくんの地道な発信はずっと続けています。チームとしても。だから、ちゃんと会議の資料でも、サンダ君 SNS でこのくらい今見てもらっているかで、数字もちゃんとデータ取っています。やっぱりその繰り返しだと思うのですよね。一気にやっぱ増えてはないそうすると、やっぱりチーム全体がやっぱりすって増えきたというのは事実で、これはもう 1 つ、アーリー効果で、アーリーができましたっていうんで、サンダーズってどういうチームなのかなっていう人は相当増えています。これはありがたいです。

田村: 自分も 1 番最初に行ったことがあって、試合って無音でやっているイメージがあったんですけど、行ったら音楽流れるじゃないですか。

阿久澤氏: やかましいでしょ。やべっていう感じだね。

田村: 攻守の時、音楽が流れる。そこに一つ興味を持って、ホームでない会場に行ってみたいなって思いました。そうすると、どれだけアウェイ感があるのかいうところが気になり。ホームがだからバンバン音楽がなる。でも、これはアウェイだとどんな感覚なのかなとか。で、たまたま VIP 席に座らせていただいている、斜め前に違う地方の方が、1 人でいたんですね。女の方ですごいんだなと思って。このアウェイの中に 1 人で座るのはすごいなと思って。どういう心境なのかなっていうので、サンダーズと別のところがやる、他の地方での試合を見たいなって思いました。

田村: あと一点質問させてください。群馬県や太田市地域を熱く盛り上げ、子どもたちに夢を与える活動があれば教えてください。夢を語り発していく地域の人々がここ近年減少していると感じます。子供達が将来、野球選手やサッカー選手、プロのバスケット選手になりたいと思っている子ども達はいると思いますが、昔と比べて発信していく子たちは減少していると感じます。現実主義の考えを持つ子たちにも夢を発信し主張掲げている風潮があれば 1 つ地域も盛り

阿久澤毅氏 × 田村圭裕

株式会社群馬エロバケットボール
コミッション代表取締役

公益社団法人太田青年会議所
第61代理事長

上がる施策になるのかと思うのですが。

阿久澤氏：夢を抱くための施策があるかと言う事ですね。そう言う事ですね。ありますよ。これは本当に簡単な事です。我々が強くなればいいですよ。

田村：そうですね。

阿久澤氏：それが夢なんです。

1番になることが夢なんです。だから皆んなで夢を見ましょうは1番になろう。それで「1番の景色を皆んなで見よう」って言うのが夢なわけです。そこから何か変わるかもしれない、そこまで行くのが本当に大きな夢だと感じます。それは我々の夢だけでなく、プースターさんであり市民であり県民、群馬県に関わる人たちの夢だと思っています。

例えば、選手1人1人のスーパープレイも夢ですよ。スーパープレイを見せるのも夢ですよ、それを見せるのも大事でお金で選手を買ってきたとかでは無くて選手が必死にプレーしている中、難しい場面で一本決める。ここに沢山の夢が詰まっているよと思うのですが、これを実際に目の前で目撃した人って凄く夢を感じると思いますね。そういう積み重ねだしゴールがあるかないかわからないけど、それを繰り返し繰り返しチャレンジする事は夢かなって思いますね。

田村：やはりチームが1番になって行くことに対してチームが目標を掲げ、その目標を応援して一緒に作り上げていく姿が、子どもの目標になりそんな人間になりたいと思うことが一つの夢になってくるという事ですね。

我々がこの地域にとって1番の団体って言うイメージで、その姿を見せていくのは改めて必要と感じました。夢を与えるのではなく、我々自身がその姿を見せ行動していけば周り人たちも、そこから夢が出来てくる。それがいいなと思います。

阿久澤氏：スポーツの目的も目標って何かっていうと、ルールブックの1番最初に載っています。知っていますか？

いや、勝つことなんです。最終的に点が多い方が勝ち、これがルールブックの最初なんです。目的の1つは勝つことなんです。勝つってことは、そのゲームすることの意義なんです。そこから逃げずにみんなやるわけなんだけど「勝たなくてはならない」ではなくて「勝とうとする」ということに大きな意味があると思うけど、これをあまり履き違えると難しくなってしまうから、単純に「いつも勝

ちたい」と思っているんだなと思ってます。だから、その結果として勝てなかったら、じゃあ、次は勝とうでいいんだと思うんです。そういう意識が大事で。ちょっと嬉しかったの

は、アリーナができる前でサンダーズが千葉にボロ負けして、見ていた小学生は泣いて帰るんだよ。

でも、これでいいんだなって思うのです。これが大事です。この子供たちは、いつかサンダーズが勝つ姿を見たいと思うわけじゃないですかね。勝った時、じゃあこの子ども思ってくれるのかな。で、その時がその子にとって。本当に感動する場面かもしれないし、これを強く印象づけることで、子供がその「勝つ」のはどういうことかっていうの

は、もしかしたらわかるかもしれないし、スポーツの良さもわかるかもしれないです。いろんなものがこう詰まってると思うので、本当に勝つ、勝つことを目指すっていうのは大事なかなと思ってます。

大体負けるだけだね。本当にそうなんだよ。どのチームもそうなんだけど、そこがすごいとこで。難しいんだよ。逆に言うと、リーグ戦で、うちがずっと勝っていたら、全然誰も面白くなくなると思う。サンダーズ、今年も全勝で優勝しました。次の年も全勝で優勝した。やっぱり金の力はなって思うよね。それは面白くない。そうでないから面白いんで。だから負けも大事だし。そういう意味では、勝負事って勝ち負けがあるからいいんだらうなという風に思います。そこに大きな夢がたくさん詰まってると思いますね。

田村：ありがとうございます。我々も固定概念に縛られる事なく、先ほどの学校の話もそうですけども、私たちならどう考えるかという視点を大切にしながら、全面的に取り組むことで地域の役に立てると考えられるし、子供たちのために？がるではないかとお話させていただき改めて感じ、そして我々がか勝とうとする団体はこの世の中沢山ありますが、我々の団体が1番で何をやっても勝つ。でも、様々な異なる団体の事業に行った時に、負けてるなって思うことによって、また違う我々の力が出て成長する、それがサンダーズにとっての子供たちであって、子供たちが思うような心と発想するのはやっぱり必要かなっていうのは改めて感じさせていただきました。物凄くいい時間となりました。本当にありがとうございます。



2025年度委員長紹介



総務委員会



委員長 西村 愛美

2025年度総務委員会委員長を務めさせていただきます。西村愛美と申します。2025年度の総務委員会では、デジタル社会である現代の様々なデジタルツールを精査し、活用しながら、徹底した運営基盤を築き上げ、限りある時間の中で今まで以上に熱い議論を行える環境を整え、太田青年会議所の下支えができる委員会となるよう一年間邁進してまいります。諸先輩方をはじめメンバーの皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

拡大広報委員会



委員長 岩崎 滉弥

2025年度拡大広報委員会委員長を務めさせていただきます。岩崎滉弥と申します。当委員会は、広報として活動、運動を対内、対外誰が見てもわかりやすく発信をし、拡大としてこれから（公社）太田青年会議所を盛り上げてくれる方々をより多く入会をしていただけるよう活動していきます。メンバーが増えることで活動の幅を広げることを実現します。諸先輩方をはじめメンバーの皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

会員委員会



委員長 岡部 隆道

2025年度会員委員会委員長を務めさせていただきます。岡部隆道と申します。会員委員会では、太田青年会議所活動に当委員会からたくさんのメンバーと参加し、地域貢献や太田を盛り上げるための姿勢を皆様に見せていきます。それが組織全体や地域全体の活気を更に向上していくことと信じ一年間邁進してまいります。諸先輩方をはじめメンバーの皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

交流研修委員会



委員長 和田 泰義

2025年度交流研修委員会委員長を務めさせていただきます。和田泰義と申します。当委員会の担う役割は「純粋にメンバーのためになること」であると認識しております。そのため当委員会では、多様な人々との交流の場を設け、それを通じて学びにつなげていく事業を開催することで、メンバーが青年経済人として自己成長を遂げることを実現していきます。諸先輩方をはじめメンバーの皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

青少年育成委員会



委員長 三澤 拓夢

2025年度青少年育成委員会委員長を務めさせていただきます。三澤拓夢と申します。当委員会では未来を担う青少年たちの育成に重きを置き、生きる力の育みとなる活動をしていきます。あらゆる過程を経験し、やり遂げる経験こそが困難に立ち向かう強い意志となると信じています。ここで得た経験が人生の糧となることを信じ一年間邁進してまいります。諸先輩方をはじめメンバーの皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

夢ある地域委員会



委員長 山田 崇史

2025年度夢ある地域委員会委員長を務めさせていただきます。山田崇史と申します。当委員会では、地域に夢と可能性を抱ける未来を創るための活動を行います。地域に住む方々が夢を語り合うことで、互いに愛着が生まれ、それが地域全体へと広がることを信じています。こうした連鎖が、地域に愛が溢れる未来へと繋がることを信じ一年間邁進してまいります。諸先輩方をはじめメンバーの皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

2025年度 出向者紹介



高橋 佑介 国際青年会議所/
JCI基金/委員長

JCI 基金委員会の委員長として出向させていただきます高橋佑介です。JCI 基金は、世界中から寄付を集めて基金とし、元本には手を付けずその運用益を JCI の活動資金として拠出しているものとなります。その活動資金は主に予算規模の小さい NOM であったり、これから JC 運動が発足する国の支援資金等にも使われ、世界中の JC 活動を資金面で支えています。JCI 基金委員会は 15 委員会ある JCI の委員会の一つで、18 カ国 25 名のメンバーで構成され、その基金への寄付募集活動を行います。昨年に引き続き国際の場で活動できる機会をいただけたことに感謝し精一杯邁進してまいります。先輩諸兄弟のご指導ご支援を心よりお願い申し上げます。



山田 圭佑 (公社) 日本青年会議所/
関東地区/群馬ブロック協議会/財政局長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。2025 年度、群馬ブロック協議会において財政局長の職をお預かりさせていただくことになりました。本年群馬ブロック協議会では、「一步踏み出す勇気で群馬の未来を創造しよう」を基本理念とし、アカデミー人材育成委員会、地域魅力発信委員会、拡大支援委員会の 3 委員会です業を展開してまいります。財政局長として各委員会と連携し、しっかりとした財務管理を行い、滞りなく進んでいけるように邁進して行きたいと思えます。私自身、JC 最終年度ではありますが、出向先で得たものを太田青年会議所に還元できるよう、頑張って参ります。現役メンバー皆様のご支援、シニアクラブの皆様からのご指導ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。



柳 大介 両毛地域青年会議所協議会/会長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年度、両毛地域青年会議所協議会第 55 代会長の職をお預かりさせていただくことになりました、柳大介と申します。新たな一年を皆様と共に歩むことを心より光栄に感じております。基本理念として「交流の輪を上げ魅力ある両毛を未来へ」のもと、同じ志を持つ 6 LOM との交流を深め、地域に愛され信頼される存在を目指してまいります。先輩諸兄弟が築き上げていただきました両毛地域青年会議所の歴史や文化、人々の絆を未来へつなぐべく、これまで受け継がれてきた 6 LOM との関係性をより良いものにし、地域社会の発展に貢献する活動するため邁進してまいりますので、御指導御鞭撻を心よりお願い申し上げます。

2025 年度 出向者一覧

国際青年会議所

委員会名称	役職	氏名
J C I 基金	委員長	高橋 佑介

(公社) 日本青年会議所

委員会名称	役職	氏名
JCI 関係委員会	委員	高橋 佑介
グローバルピース委員会	委員	茂木 將多

関東地区協議会

委員会名称	役職	氏名
多様化企業促進委員会	副委員長	佐藤 隆平
	委員	佐藤 崇史
	委員	谷 永明日香
	委員	西村 駿
地区大会担当委員会	委員	藤井 ひとみ
	委員	鶴 貝 智
財政特別委員会	委員	田 辺 雄大
	委員	山 田 圭佑

群馬ブロック協議会

委員会名称	役職	氏名
財 政 局	財政局長	山 田 圭佑
	財政局次長	稲 塚 祐輔
アカデミー人材育成委員会	副委員長	設 楽 祐輔
	委員	柳 川 真人
地域魅力発信委員会	委員	山 越 高浩
	委員	宮 下 智文
拡大支援委員会	委員	大 塚 祐輔
	委員	清 宮 豪
事 務 局	委員	山 田 宗平
	委員	須 藤 脩仁
	委員	長 沼 勇希
	委員	武 井 一樹

両毛地域青年会議所協議会

委員会名称	役職	氏名
事 務 局	会 長	柳 大 介
	運営専務	佐藤 崇史
	事務局長	谷 永明日香
	事務局長次長	加藤 奈緒美
	委員	池 戸 潤
両毛交流委員会	委員	佐藤 隆平
	委員	角 田 英晃
	委員	桑 島 希世美
両毛地域魅力発信委員会	委員	島 倉 月弓
	総括幹事	横 田 卓
	委員	中 川 純希
	委員	茂 木 將多

